

第5章 衛 生 費

第5章 衛 生 費

第1節 保健衛生費

1 保健衛生総務費

(1) 一般諸経費

AED（自動体外式除細動器）配備

市内の全公共施設、区民館等にAEDの配備を進め、市民の安心・安全を確保しました。

AED218台（うち区民館等121台）・トレーニング用5セット 賃借料 573万7,392円

(2) 市単独運営費補助金

二次救急医療機関補助金

脳神経外科における二次救急（重症患者の受入れ）の診療体制を維持・確保するため、一般財団法人富士脳障害研究所に対し、390万3,000円を補助しました。

(3) 国・県支出金を伴う事業費補助金

輪番制病院設備整備事業費補助金

脳神経外科における二次救急(重症患者の受入れ)を輪番制により行う病院(病院群輪番制病院)である一般財団法人富士脳障害研究所附属病院が、診療機能の維持・確保のために行う医療機器の整備事業に対し、補助しました。

交 付 先	対 象 医 療 機 器	補 助 金 額 (円)
一般財団法人富士脳障害研究所	超音波画像診断装置 1台	4,950,000

2 保健センター・救急医療センター費

(1) 一般諸経費

救急医療協力促進（輪番在宅制）

一般社団法人富士宮市医師会に委託して、輪番在宅制（特定診療科目）による第1次救急医療を実施しました。

委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
救急医療協力促進業務 (輪番在宅制)	産婦人科及び眼科	4,459,400	一般社団法人 富士宮市医師会	随意契約

診療体制

診 療 科 目	診 療 日	診 療 時 間	医 療 機 関
産 婦 人 科	日曜日	午前9時～午前0時	輪番在宅制による市内の 関係医療機関
眼 科	休日及び年末年始	午前9時～午後5時	輪番在宅制による市内及び 富士市の関係医療機関

(2) 保健センター救急医療センター維持管理費

委託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
清掃業務	日常・定期清掃、ビル管理	8,233,860	(株)協栄静岡支店	指名競争入札
長寿命化工事 機械設備工事 建築工事	工 事 工 事	49,940,000 75,300,000	(株)小野田総合設備 (株)旭建設	指名競争入札

(3) 救急医療センター運営事業

富士宮市救急医療センターは、平成18年度から富士宮市救急医療協会を指定管理者として、平日夜間、休日等の一次救急の診療を行っています。

ア 指定管理者による管理

名 称	概 要	金額(円)	指 定 管 理 者
救急医療センター管理運營業務	管理運営	168,403,083	富士宮市救急医療協会

イ 診療体制

診療科目	診 療 日	診 療 時 間	医 療 機 関
内 科 小 児 外 科	平日	午後7時～翌日午前8時	救急医療センター
	土曜日及び日曜日	土曜日の午後2時～月曜日の午前8時	
	その他の休日及び年末年始	午前8時～翌日午前8時	
歯 科	休日及び年末年始	午前9時～午後5時	

成果等

一般社団法人富士宮市医師会、一般社団法人富士宮市歯科医師会及び一般社団法人富士宮市薬剤師会並びに浜松医科大学、順天堂大学、聖マリアンナ医科大学及び東京慈恵会医科大学の協力を得て、1万9,160人(内科7,962人、小児科4,948人、外科5,999人、歯科251人)の救急患者を診療しました。

3 予防費

予防接種事業

予防接種法に基づく予防接種業務及び任意予防接種の助成事業を実施しました。

(1) 定期予防接種及び任意予防接種助成件数

(単位：人)

予定 予防 接種 期	急性 灰白 髄炎 (ポリオ)	日本 脳炎	四種 混合	二種 混合	麻しん・風し ん混合(MR)	B C G	小 児 肺 炎 球 菌 用	ヒ ブ	B 型 肝 炎	子 宮 予 防 頸	水 痘	エ ン フ ザ ル	成 人 肺 炎 球 菌 用	成 人 抗 体 検 査	成 人 男 性 風 し ん	合 計
延べ人数	2	4,526	3,347	1,028	1,885	787	3,309	3,195	2,410	36	1,634	18,503	1,396	1,270	363	43,691
任意予防接種			成人用肺炎球菌	風 し ん	麻しん・風しん混合(MR)							ロタウイルス				合 計
延べ人数			125	3	47							1,306				1,481

(2) 手数料

名 称	概 要	金額(円)	実 施 先
予防接種業務	個別接種	26,663,433	富士宮市立病院

(3) 委託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
予防接種業務	個別接種	272,063,343	一般社団法人 富士宮市医師会ほか	随意契約

成果等

予防接種事業の実施に当たり、医師会等の協力を得ながら安全かつ確実な接種の実施に努めるとともに、新たにロタウイルスの任意予防接種への費用助成を開始し、接種機会の提供と保護者の経済的・心理的支援に努めました。

また、成人男性の風しんの抗体検査及び予防接種を開始し、全国的に感染症のまん延予防に取り組みました。

4 母子保健活動費

(1) 乳幼児健康診査事業

母性の保護及び乳幼児の健全な育成を図ることを目的に、発達段階に応じた各種保健事業を実施しました。

ア 1歳6か月児及び3歳児健康診査

身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である1歳6か月児及び3歳児に対して、総合的な診査を実施しました。

(ア) 1歳6か月児健康診査

回 数	対象者数	受診者数	内科健康診査	歯科健康診査	保健指導	栄養指導
22回	814人	799人	799人	798人	799人	179人

(イ) 3歳児健康診査

回 数	対象者数	受診者数	内科健康診査	歯科健康診査	眼科写真撮影者数	保健指導	栄養指導
22回	945人	916人	916人	915人	915人	916人	116人

眼科写真撮影者数のうち医療機関受診者の内訳

(単位：人)

受診者数	異常なし	経過観察	要検査	要治療
121	20	70	13	18

イ 2歳児歯科健康診査

1歳6か月から3歳までの間に急増するむし歯の予防を目的として、歯科健康診査、保健指導、栄養指導、フッ化物塗布等を実施しました。

回数	対象者数	受診者数	保健指導	栄養指導	フッ化物塗布
22回	907人	815人	815人	136人	784人

ウ 乳児健康診査

乳児の疾病の早期発見及び適切な保健指導を図るため、指定医療機関で4か月児健康診査及び10か月児健康診査を実施しました。

(ア) 実施状況

(単位：人)

区 分	対 象 者 数	受 診 者 数	要精密検査・経過観察及び治療中
4か月児健康診査	809	808	76
10か月児健康診査	858	827	128

(イ) 委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
乳児健康診査業務	個 別 4・10か月児	10,187,685	一般社団法人静岡県医師会ほか	県へ委任

成果等

診察等の結果に基づき、病院受診を勧め、早期治療に努めるとともに、継続的に支援の必要な乳幼児については、事後フォロー教室につなげる等支援を行いました。また、全ての乳幼児健康診査未受診者に対して家庭訪問等の対応を行い、状況の確認に努め、受診の大切さを指導しました。

(2) 不妊・不育症治療費助成事業

少子化対策の一環として、子どもを望んで不妊・不育症治療をしている夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、医療費の一部を助成しました。

助成延べ件数 (件)	(再掲) 不育症 (件)	母子健康手帳交付者数 (人)	助成額 (円)
173	4	54	35,356,210

成果等

不妊・不育症治療をしている夫婦の経済的負担を軽減するとともに、母子健康手帳交付の実績もありました。

(3) 妊産婦等健康診査事業

妊娠中の急激な母体変化による異常や胎児異常の早期発見を図るため、公費負担による妊婦健康診査を実施しました。また、産後うつ予防や早期発見のため、公費負担による産婦健康診査を、聴覚障害の早期発見のため、新生児聴覚検査費の一部助成を実施しました。

ア 実施状況

(単位：人)

区 分	交 付 延 べ 数	受 診 延 べ 数	要精密検査・治療・指導延べ数
妊婦健康診査	11,246	9,596	2,395
産婦健康診査	1,614	1,556	177
新生児聴覚検査	807	802	12

イ 委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
妊婦健康診査業務	個別	68,780,520	一般社団法人静岡県医師会ほか	県へ委任
産婦健康診査業務	個別	7,445,000	一般社団法人静岡県医師会ほか	県へ委任
新生児聴覚検査業務	個別	3,233,700	一般社団法人静岡県医師会ほか	県へ委任

ウ 助成金

名 称	概 要	金 額 (円)
妊婦健康診査助成金	指定外医療機関受診償還払	1,727,005
産婦健康診査助成金	指定外医療機関受診償還払	269,390
新生児聴覚検査助成金	指定外医療機関受診償還払	160,790

成果等

平成30年度から、公費負担による産婦健康診査を開始し、産後間もない時期に2回の健康診査の機会を提供しました。また、医療機関からの連絡により、支援が必要な者を早期に把握し、早期に支援を開始しました。

(4) 母子教育・相談事業

ア もうすぐパパ・ママ学級

健康な赤ちゃんを産み育てるために、妊娠・分娩・育児についての相談指導を行うとともに父親の育児参加のための学習を実施しました。

回数	対象者数 (初妊婦)	出 席 者 数				
		初妊婦		父 親		その他
		実数	延べ数	実数	延べ数	延べ数
16回	358人	141人	233人	100人	129人	46人

イ 健康教育

健康の保持増進及び子どもの健やかな発達を支援するため、健康教育を行いました。

区 分	内 容	実 施 場 所	実施回数(回)	人数 (人)
健 康 教 育	育児・食事・事故防止等	保健センター、保育施設、区民館ほか	177	3,141
	歯みがき指導	保育施設、小中学校ほか	48	2,097
合 計			225	5,238

ウ 健康相談

家庭における健康管理及び育児不安の軽減を目的に、心身の健康について指導及び助言を行いました。

名 称	内 容	実 施 場 所	実施回数(回)	人数(人)
母 子 健 康 相 談	保健・栄養・歯科相談	保健センターほか	随時	4,156
6か月児健康相談	計測・保健・栄養・歯科指導 ブックスタート事業	保健センター	24	713

エ う歯予防対策

歯質の強化等によるむし歯予防及び歯の健康意識高揚のため、フッ化物を利用した事業を行いました。

対 象 者	内 容	実 施 場 所	実施回数 (回)	人数 (人)
幼 児 ・ 障 が い 児	フッ化物塗布	保健センター	81	2,458
幼児 (年中児・年長児)	フッ化物洗口	保育園・幼稚園 (31園)	週5	1,959
合 計				4,417

オ 乳児家庭全戸訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、児の発育や産婦の心身の状態を把握し、子育てや健康管理に関する指導及び助言を行いました。

対 象 者 数	訪 問 数
806人	807人

成果等

各種健康教育や健康相談をととして、子どもの健やかな発達のため啓発や支援に努めました。

なお、乳児家庭全戸訪問に関しては、他市町との相互協力による訪問や保健センターへの来所により、対象者全員を把握しました。

5 保健対策推進事業費

(1) 健康推進啓発事業

生活習慣を改善し、健康増進に対する意識の普及啓発に努めました。

名 称	内 容	参加者数(人)
健康まつり	健康度測定・健康相談（歯と口の健康週間事業と同時実施）	670
講 演 会	講演会 「健診結果から学ぶ！糖尿病」 谷口内科クリニック 谷口幹太医師 「こころが軽くなるこつ～ものの受け止め方、考え方をちょっと変えてみよう～」 認知行動療法研修開発センター理事長 大野裕氏 「高血圧症について知ろう」 南陽堂内科循環器科クリニック 佐野壮一医師 「腸内フローラと幸福寿命」 慶應義塾大学医学部教授 伊藤裕氏 「運動による認知症予防～運動は何故効果があるのか～」 国立長寿医療研究センター 島田裕之氏 「運動のすすめ～いつまでもいきいきと過ごすために～」 ないう整形外科クリニック 内藤健一氏 「今日からできる！健口づくり～歯周病予防・正しい口腔ケアのコツ～」 富士宮市歯科医師会 花井有紀子氏 「妙慶さんのちょっといい話」 川村妙慶 氏 「オーラルフレイル～歯周病の予防と口腔ケア～」 富士宮市歯科医師会 窪田明久氏 「いつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らすために～フレイルを予防しよう～」 フジヤマ病院 根本慎一郎氏 「共食で子どもの心と体を育てよう」 名古屋短期大学教授 小川雄二氏	1,197

(2) 保健委員活動事業

保健委員を行政区ごとに1人又は2人（総数140人）依頼し、健康について学習したことを地域の住民に伝えていく等、地域に密着した保健活動の推進に努めました。

活 動 内 容	回 数（回）	参加者数（人）
保健委員研修（全体研修・支部定例会）	74	1,010
地 域 健 康 づ く り 事 業	466	3,426

6 健康増進事業費

(1) 健康教育

生活習慣病の予防、介護予防など健康の保持増進について、健康教育を行いました。

区 分	内 容	実 施 場 所	回 数（回）	人 数（人）
健康教育	生活習慣病の予防等	公民館ほか	155	3,099
	介護予防	公民館ほか	171	3,691

(2) 健康相談

生活習慣病の予防、介護予防などの健康増進に関する指導及び助言を行いました。

区 分	内 容	実 施 場 所	回 数 (回)	人 数 (人)
健康相談	保健・栄養・歯科・運動相談	保健センターほか	854	2,326
	介護予防	保健センターほか	83	1,040

(3) 健康診査事業

がん、骨粗しょう症、歯周病等の早期発見とその予防を図るため、各種健康診査を実施しました。

ア 実施状況

区 分	胃がん検診	大腸がん検診	結核及び肺がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	前立腺がん検診	肝炎ウイルス検診	骨粗しょう症検診	歯周病検診	健康診査
受診者数(人)	8,445	10,780	14,551	2,928	2,558	4,151	1,218	198	175	18
がん発見者数(人)	18	24	4	0	12	10	※ 10			

※ 感染している可能性が極めて高い人

イ 手数料

名 称	概 要	金 額 (円)	実 施 先
乳がん検診業務	個 別	2,450,844	富士宮市立病院
胃がん検診業務	個 別	680,108	富士宮市立病院

ウ 委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
健 康 診 査 業 務	集団・個別	153,796,466	一般社団法人富士宮市医師会	随意契約
	集団・個別	2,978,337	共立蒲原総合病院組合	随意契約
	集団・個別	1,674,637	清水厚生病院	随意契約
	集 団	8,016,038	公益財団法人静岡県予防医学協会	随意契約
胸 部 検 診 業 務	集 団	18,520,827	公益財団法人結核予防会静岡県支部	随意契約
乳がん・骨粗しょう症検診業務	集 団	10,891,782	一般財団法人東海検診センター	随意契約

成果等

死亡原因第1位のがんによる死亡を減少させるため、がん検診の啓発や特定年齢に達した者に子宮頸がん・乳がん検診が無料となるクーポン券を送付し、受診率向上に努めました。

(4) 訪問指導事業

生活習慣病の予防を目的に訪問指導を実施しました。

内 容	実人数(人)	延べ人数(人)	備 考
検診等要指導者	250	365	随 時

(5) うつスクリーニング事業

自殺の主な原因となるうつ病を早期発見し、早期受診に結びつけるためのスクリーニングを実施しました。

区 分	実施者	要対応者	対 応 結 果					
			改善	治療中	病院紹介	相談機関紹介	経過観察	その他
実施人数(人)	8,361	100	8	63	4	13	6	6

成果等

うつスクリーニングにより、気になる人等を相談機関に紹介し、早期対応に結びつきました。また、多くの人にうつスクリーニングを実施することで啓発にもつながりました。

7 環境衛生費

(1) 市営墓地管理事業

指定管理者による管理

名 称	概 要	金 額 (円)	指 定 管 理 者
富士宮市営墓地管理業務	維持管理	8,380,370	公益財団法人富士宮市振興公社

(2) 富士山麓環境パトロール事業

富士山麓環境パトロール隊18人が、主に廃棄物の不法投棄について富士山麓一帯を中心にパトロールしました。

6地域(6班)に分かれて、年間44回のパトロールを実施し、発見した不法投棄廃棄物について東部健康福祉センター、警察署など関係機関へ報告しました。

(3) 環境衛生推進事業

ア 防疫業務

地域の防疫として、自治会(区又は町内会)へ衛生害虫駆除の薬剤の配布及び薬剤噴霧機の貸出しを行い、衛生害虫の駆除に努めました。

駆除用薬剤の購入

名 称	数 量	金 額 (円)	購 入 先	契 約 方 法
成虫駆除剤(水性乳剤)(500ml入)	50本	202,500	おくとう薬局	随 意 契 約 (見積り合わせ)
幼虫駆除剤(乳剤)(6ℓ入)	50缶	1,620,000		
幼虫駆除剤(デミリン発泡錠)(2錠×100包)	100袋	669,600		
合 計		2,492,100		

イ 狂犬病予防業務

狂犬病予防法に基づき、犬の登録事務及び狂犬病予防注射済票の交付事務を次のとおり実施しました。また、犬の放し飼い、散歩の際のふんの始末等の問題に対する指導及び啓発を行い、適正な飼育の意識の向上に努めました。

名 称	件 数 (件)
犬 の 登 録	602 (25)
犬 の 鑑 札 の 再 交 付	8
犬 の 狂 犬 病 予 防 注 射 済 票 交 付	7,387 (58)
犬 の 狂 犬 病 予 防 注 射 済 票 再 交 付	0

※ 括弧内は盲導犬の件数

8 環境対策費

(1) 再生可能エネルギー推進事業

創エネ・蓄エネ機器等設置費補助金

二酸化炭素排出量の削減及び蓄電池等の利用による電力のピークカット、ピークシフトを推進するため補助事業を実施しました。

補助金交付件数及び交付金額（自治会を含む。）

補助金交付件数(件)	交付金額(円)
226	29,385,000

※ 補助金交付件数は、補助金の受給者数であり、受給者が同時に複数の対象機器の交付を受けた場合も件とする。

機器別内訳

対 象 機 器	補助件数(件)	交付金額(円)
太陽光発電システム	145	15,575,000
家庭用燃料電池(エネファーム)	23	2,300,000
家庭用ガスコージェネレーションシステム(エコウィル)	0	0
定置用リチウムイオン蓄電池	109	10,900,000
ビークル・トゥ・ホームシステム	1	50,000
クリーンエネルギー自動車	0	0
HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)	56	560,000
自治会(太陽光発電システムと蓄電池)	0	0

(2) 地球温暖化対策事業

家庭や学校で、省エネルギー、省資源活動、ごみ削減などの環境活動を推進することにより、二酸化炭素排出量の削減など、環境への負荷の低減に努めました。

アース・キッズ事業

東小学校、大宮小学校、富丘小学校、大富士小学校、富士根北小学校、富士根北小学校粟倉分校、山宮小学校、人穴小学校、白糸小学校、上野小学校、富士見小学校、稲子小学校がアース・キッズ事業に参加し、地球温暖化について学び、自分達ができることは何かを考え、家庭の中で「環境リーダー」として環境活動に取り組みました。

参加校 12校 合計654人

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
アース・キッズ事業	地球温暖化防止活動プログラムの実施	1,842,892	特定非営利活動法人アースライフネットワーク	随意契約

(3) 環境監視測定事業

市内の環境監視として、環境基準の定められている水質(水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質、溶存酸素量、トリクロロエチレン、四塩化炭素等)、大気(二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質)、ダイオキシン類及び騒音(道路に面する地域)の調査を実施しました。

また、環境基準AA類型が適応される芝川上流部の水質については、年6回8地点で調査を実施した結果、河川の汚濁を示す指標であるBOD(基準値1mg/l)について、3地点で環境基準に適合していませんでした。

ダイオキシン類の環境濃度については次のとおりでした。

区 分	調 査 場 所	測 定 結 果	環 境 基 準
大 気	山 宮 小 学 校 屋 上	0.019pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
	中 央 消 防 署 芝 川 分 署	0.0067pg-TEQ/m ³	
水底の底質	くすのき橋（潤井川）	0.17pg-TEQ/g	150 pg-TEQ/g以下

道路に面する地域の騒音の調査は、自動車騒音の監視業務として実施しました。

市内4路線の計7.4kmについて、騒音測定等に基づき面的評価を行いました。結果は次のとおりでした。

評 価 対 象 路 線	評 価 区 間 延長(km)	評 価 対 象 戸 数	環 境 基 準 達 成 状 況							
			昼夜とも達成		昼のみ達成		夜のみ達成		昼夜とも超過	
			戸数	%	戸数	%	戸数	%	戸数	%
国道139号（西富士道路）	0.7	118	118	100	0	0	0	0	0	0
県道 清水富士宮線	1.2	149	149	100	0	0	0	0	0	0
県道 富士根停車場線	4.5	723	721	99.7	2	0.3	0	0	0	0
市道 西小泉町線	1.0	102	102	100	0	0	0	0	0	0

評価対象は、道路端から50メートルにある住宅等を対象としています。

道路に面する地域の環境基準は、地域の区分、道路の種類、車線数に応じて昼間60～70dB、夜間55～65dBの範囲で定められています。

(4) 市単独事業費補助金

環境保全資金貸付金利子補給

事業所における環境保全のための施設整備や対策を促進するため、環境保全資金借入者に対し、その利子相当額を年利2.5パーセント以内で最大10年間利子補給金として交付しています。

令和元年度は、3者に対し前期分18万4,007円、後期分16万175円の、計34万4,182円を交付しました。

9 地下水対策費

(1) 地下水保全対策事業

ア 地下水資料の収集

次の各観測等を実施し、市内各観測井の水位の変化等を継続的に観測するとともに、市内各湧水池の湧水量を測定することにより、そのデータを地下水資料として収集しました。

(ア) 地下水水位観測

市内21か所の観測井（猪之頭、白糸、人穴、貫間、淀師、大中里、大宮、星山、安居山、城山、万野原、湧玉、井之頭中、猪之頭東、五斗目木、根原、外神北、大堤、淀師南、柚野、宮町）において、観測を実施しました。

(イ) 湧水量

岳南地域地下水利用対策協議会として、市内13地域（杉田、石原、元村山、栗倉、猪之頭、五斗目木、西川、白糸の滝、淀師・渋沢、青見、よしま池、湧玉池、富士山二合目）23か所で測定を実施しました。

イ 地下水採取に関する条例に基づく届出

静岡県地下水の採取に関する条例に基づく氏名等変更届出書を始め、27件の届出を受理しました。また、富士宮市自然環境の保全及び育成に関する条例に基づき井戸新設の届出を始め、11件の届出を受理しました。

なお、届出の受理に際しては、地下水の保全、適正利用の観点から必要な指導等を行いました。

ウ 湧水池の保全

良好な自然環境の保全を図るため、富士宮市自然環境の保全及び育成に関する条例施行規則の規定に基づき、湧水池の保存指定を行っています。

令和元年度末現在で、保存湧水池は16か所です。

(2) 水源保全監視事業

自然水源の維持と水源保全の啓発を図るため、水源保全監視員4人により4地下水系の水源地及び保存湧水池等の巡視活動を実施し、水源地等の監視に努めました。

(3) 広葉樹育苗・植樹事業

自然林の復元と地下水のかん養を図るため、1,000本の広葉樹の育苗事業を実施し、市内の山林等に植樹しました。広葉樹の育苗事業は、富士山自生の広葉樹の育苗を平成9年度から継続して実施しています。

第2節 清 掃 費

1 清掃総務費

(1) 環境美化啓発事業

令和元年度環境月間ポスターコンクール入賞者の絵画をごみ収集車に描くとともに、小学校4年生を主たる対象として小学生社会科学習資料「ごみとわたしたち」を作成し、市内の小学校22校（分校を含む。）に配布することにより、美化意識の啓発に努めました。

(2) ごみ減量化等推進事業

ア 古紙等リサイクル活動奨励金

古紙等リサイクル活動奨励金制度による助成を実施し、ごみの減量化の推進に努めました。

古紙等リサイクル活動奨励金交付実績

延べ申請団体数	回収重量 (kg)	交付金額 (円)
843	2,585,976	7,756,700

イ 古紙回収ステーション

古紙回収ステーション事業として、古紙回収ボックス31か所の合計で82万1,359 kilogramsの古紙を回収し、可燃ごみの収集量の削減要因になりました。

ウ ごみダイエットプロジェクト

4・5月	雑がみの分別	
6・7月	生ごみの削減、衣類の分別	キックオフセレモニーの開催（内房小学校）
8・9月	事業系紙ごみの削減、衣類の分別	市内75社への事業者訪問 家庭ごみ展開調査 第1回エコ・クッキング講座
10・11月	食品ロスの削減、雑がみの分別	第2回エコ・クッキング講座
12・1月	3010運動の推進	冷蔵庫クリーンアップデーの啓発
2・3月	雑がみの分別、衣類の分別	

目標：清掃センターに搬入される可燃ごみの前年比300トン削減
結果：516トン削減

(3) 不法投棄ごみ等処理事業

富士山麓一帯を中心として後を絶たないごみの不法投棄による環境悪化を防止するため、富士山麓環境パトロール隊等の監視活動で発見された不法投棄ごみの撤去処理等を行いました。

委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
不法投棄ごみ処理業務	不法投棄ごみの撤去処理等	4,641,066	公益社団法人富士宮市シルバー人材センター	随意契約

成果等

市内305か所で発見された不法投棄ごみ6.64トンの撤去処理等を実施し、地域環境の改善を図りました。

(4) 一般廃棄物収集事業

ごみの収集については、民間業者に委託して、可燃物は週2回、不燃物は月1回から3回、粗大ごみと水銀使用製品は3か月に1回収集を行いました。資源ごみである瓶、缶、紙パック及びペットボトルは月1回収集を行いました。また、年末の可燃物の収集は12月31日まで実施しました。

ア 収集実績

区 分		収集日数(日)	収 集 量 (t)	1日平均収集量(t)
可	燃 物	307	24,499.42	79.80
不	燃 物	114	1,244.86	10.92
乾	電 池	114	35.02	0.31
瓶	生 き 瓶	60	7.00	0.12
	カ レ ッ ト		713.67	11.89
缶	ス チ ール	60	183.61	3.06
	ア ル ミ		93.85	1.56
粗 大 ご み		20	202.46	10.12
ペ ッ ト ボ ト ル		60	243.26	4.05
ト レ イ		60	17.51	0.29
紙 パ ッ ク		60	13.21	0.22
水 銀 使 用 製 品		20	9.20	0.46

イ 委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
一般廃棄物収集運搬業務	市内(旧富士宮市全域)収集運搬	369,183,000	富士宮清掃(有)	随意契約
一般廃棄物収集運搬業務	市内(旧芝川町全域)収集運搬	42,771,600	(有)芝川清掃	随意契約

(5) 資源ごみリサイクル推進事業

容器包装リサイクル法に基づく分別収集計画により月1回それぞれ収集した瓶(白色瓶、茶色瓶、その他の色瓶)、ペットボトル及びトレイについては、リサイクルのための中間処理等を次のとおり実施しました。

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
空き瓶処理業務	空き瓶中間処理	6,362,212	(有)三和システム輸送	随意契約
ペットボトル処理業務	ペットボトル処理	9,259,319	(株)エコネコル	随意契約
トレイ処理業務	トレイ処理	572,682	(株)エコネコル	随意契約
再商品化委託業務	再商品化処理	488,846	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会	随意契約

(6) 国・県支出金を伴う事業費補助金

合併処理浄化槽補助

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、下水道事業認可区域(補助金の交付申請を行う日が属する年度の4月1日から起算して7年を経過する日までの間に下水道の整備が見込まれない区域を除く。)外及び農業集落排水処理施設区域外で合併処理浄化槽を設置した者に対し、富士宮市浄化槽設置整備事業費補助金交付要綱に基づき、次のとおり補助金を交付しました。

なお、この事業は、国庫補助及び県補助の対象事業です。

人 槽	1基当たりの補助金額(円)	補助実績(交付額)	
		基数(基)	金額(円)
5	新設 332,000	112	37,184,000
	転換(汲取) 600,000	3	1,800,000
	転換(単独処理浄化槽) 600,000	10	6,000,000
6及び7	新設 414,000	54	22,356,000
	転換(汲取) 695,000	2	1,390,000
	転換(単独処理浄化槽) 695,000	3	2,085,000
	転換(単独処理浄化槽) 600,000	1	600,000
8から10 まで	新設 548,000	7	3,836,000
	転換 916,000	0	0
合 計		192	75,251,000

2 清掃運動費

清掃運動事業

平成31年4月13日から17日までを市内一斉の清掃運動期間として、市民を主体とした「第55回清掃運動」を実施しました。

成果等

河川、道路側溝等のしゅんせつ汚泥及び幹線道路の不法投棄処理に従事した職員は延べ152人、運搬車両は延べ59台、運搬量は48.33トン、これに各区が独自で運搬処理した延べ164台、90.08トンを加えると、総延べ運搬車両は223台、総処理量は138.41トンに上りました。

3 じん芥処理費

(1) 清掃センター搬入状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

ア 可燃物搬入量

(単位：t)

イ 不燃物搬入量

(単位：t)

月 別	平成30年度	令和元年度	対前年度比	月 別	平成30年度	令和元年度	対前年度比
平成31年4月	3,109	3,129	20	平成31年4月	292	306	14
令和元年5月	3,294	3,311	17	令和元年5月	344	376	32
6月	3,053	2,934	▲119	6月	293	281	▲12
7月	3,294	3,329	35	7月	262	261	▲1
8月	3,344	3,301	▲43	8月	272	282	10
9月	3,010	3,022	12	9月	279	325	46
10月	3,437	3,129	▲308	10月	389	311	▲78
11月	3,017	2,915	▲102	11月	320	282	▲38
12月	3,207	3,178	▲29	12月	456	420	▲36
令和2年1月	2,944	2,907	▲37	令和2年1月	268	254	▲14
2月	2,564	2,624	60	2月	235	264	29
3月	2,900	2,878	▲22	3月	336	368	32
計	37,173	36,657	▲516	計	3,746	3,730	▲16

(2) じん芥処理事業

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
粗大ごみ処理施設等運転管理及びごみ受入業務	清掃センター粗大ごみ処理施設運転管理及びごみの受入等	88,617,000	テ ス コ (株)	指名競争入札
焼却炉運転管理業務	清掃センターの焼却施設運転維持管理等	156,275,119	(株)タクマテクノス	随 意 契 約
鞍骨沢最終処分場維持管理業務	鞍骨沢最終処分場の維持管理等	29,757,000	テ ス コ (株)	指名競争入札
焼却灰等処分業務その1(主灰)	焼却灰(主灰)のセメント資源化	11,319,791	宇 部 興 産 (株)	指名競争入札
焼却灰等処分業務その2(主灰・飛灰)	焼却灰(主灰・飛灰)の溶融資源化	14,691,222	中央電気工業(株)	指名競争入札
焼却灰等処分業務その3(主灰・飛灰)	焼却灰(主灰・飛灰)の焼成リサイクル	81,623,176	三重中央開発(株)	指名競争入札

(3) 施設維持補修費

ア 工事

名称	概要	金額(円)	受注者	契約方法
清掃センター工場棟 長寿命化工事 (建築工事)	長寿命化対象施設保全計画に基づく清掃センター工場棟の外壁等の改修	181,440,000	無双建設(株)	事後審査型 制限付き一般 競争入札
清掃センター工場棟 長寿命化工事 (自動火災報 知設備更新)	長寿命化対象施設保全計画に基づく清掃センターの自動火災報知設備の更新	11,554,950	オブリック(株)	公募型指名 競争入札

イ 修繕

名称	概要	金額(円)	受注者	契約方法
燃焼施設定期整備 その 1	2号炉誘引送風機用回転数制御盤更新、No.2クレーン用油圧バケット更新、1号炉混練機部品交換、プラント用空気圧縮機点検、クレーン点検、1号炉灰出コンベヤテークアップユニット等交換、その他点検整備修繕	96,552,000	(株)タクマ 東京支社	随意契約
燃焼施設定期整備 その 2	1号炉水冷火格子交換、1号炉水冷火格子用ホース取替、1号炉乾燥ストロカ落ち口耐火物修繕、プラットホーム監視盤内PLC交換、トラックスケール計量用システム機器等交換、その他点検整備修繕	56,870,000	(株)タクマ 東京支社	随意契約
粗大ごみ処理施設搬送 コンベヤほか修繕	搬送コンベヤ修繕、破碎機修繕、屋外歩廊・階段増設修繕、排出コンベヤ重錘修繕、ブレーカ肉盛修繕	23,980,000	クボタ環境 サービス(株)	随意契約
清掃センター滅菌 装置緊急修繕	清掃センター井水受水槽に設置されている滅菌装置の緊急修繕	6,160,000	(株)磯村 静 岡営業所	随意契約

4 し尿処理費

(1) 衛生プラント処理状況 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:kl)

月別	投入日数	投入量	投入内訳		1日平均投入量	
	(日)		生し尿	浄化槽汚泥	投入日数割	月の日数
平成31年4月	21	3,905.6	289.4	3,616.2	186.0	130.2
令和元年5月	21	3,854.5	293.6	3,560.9	183.5	124.3
6月	22	4,055.3	259.1	3,796.2	184.3	135.2
7月	24	4,380.4	267.1	4,113.3	182.5	141.3
8月	20	3,555.8	238.0	3,317.8	177.8	114.7
9月	21	3,833.8	206.9	3,626.9	182.6	127.8
10月	22	4,015.3	254.8	3,760.5	182.5	129.5
11月	21	3,899.0	223.6	3,675.4	185.7	130.0
12月	21	3,879.4	305.8	3,573.6	184.7	125.1
令和2年1月	21	3,730.8	181.4	3,549.4	177.7	120.3
2月	21	3,792.5	242.7	3,549.8	180.6	130.8
3月	22	3,831.7	321.4	3,510.3	174.2	123.6
計	257	46,734.1	3,083.8	43,650.3	181.8	127.7
平成30年度実績	264	47,247.9	3,124.0	44,123.9	179.0	129.4

(2)し尿処理事業

ア 委託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
汚泥槽清掃業務	各汚泥槽に蓄積された、砂・腐敗した汚泥の除去及び槽内の清掃業務	3,685,600	八光海運(株)	指名競争入札
脱水汚泥処分業務	し尿・浄化槽汚泥の処理過程で発生する脱水汚泥の焼却再生業務	6,886,227	(株)ミダック	随意契約
衛生プラント運転管理業務	し尿処理設備の運転及び維持管理業務	29,920,500	浅野アタカ(株)	随意契約

イ 負担金補助及び交付金

名 称	概 要	金額 (円)	支 出 先
し尿分離液処理負担金	脱水処理水を星山浄化センターで処理するための負担金	10,371,091	富士宮市水道部下水道課

第3節 火葬場費

火葬場運営費

1 富士宮聖苑の利用状況

火 葬 件 数 (件)					霊 柩 車 使 用 回 数 (回)		
市 民	市外住民	小 計	小動物等	合 計	市 民	市外住民	合 計
1,409	36	1,445	261	1,706	372	14	386

2 火葬場施設維持管理費

指定管理者による管理

名 称	概 要	金 額 (円)	指定管理者
富士宮聖苑管理業務	管理運営	37,045,555	ふじのみや斎苑管理グループ